

展示する遺跡の概要

○町屋遺跡

町屋遺跡は清水区庵原町に位置する遺跡で、今回の調査では旧石器時代、縄文時代、弥生時代、古墳時代、奈良・平安時代、中世と、とても幅広い時代の遺構や遺物が確認されました。主要な遺構としては古墳時代のお墓の跡や奈良・平安時代の竪穴住居跡が見つかりました。また、静岡市内ではめずらしい旧石器時代の遺物や縄文時代・弥生時代の遺物も出土しています。



奈良・平安時代 土器など



旧石器時代 石器

○小里前遺跡

小里前遺跡は清水区庵原町に位置する古代の集落遺跡です。特に奈良・平安時代の遺構が多く確認されており、竪穴住居跡が数多く見つかっています（今回の調査では3次・4次調査合わせて20軒）。また、今回の調査では、古墳時代の建物跡やまつりごとの痕跡などの重要な遺構も確認できました。



古墳時代 土器集積（まつりごとの痕跡か）



奈良・平安時代 住居跡

○駿府城跡

葵区に位置する駿府城は徳川家康が築城した城です。平成 28 年度からは天守台の大規模な発掘調査を行っています。平成 29 年度は天守台北側一辺と南側の石垣を調査し、現在までに天守台の大きさが西辺約 68m×北辺約 61mであることが確かめられました。調査に伴い、大量の瓦や建築材などの遺物も出土しました。



調査区全景



天守台北辺の石垣

○史跡片山廃寺跡

史跡片山廃寺跡は駿河区大谷に位置する遺跡で、駿河国の国分寺（聖武天皇の命により各国に建てられた寺院）であったと考えられています。昭和 40 年に国指定史跡に指定されました。平成 28・29 年度の調査では伽藍域の北辺（寺院の北の端）を明らかにすることができ、これによりこれまで確定できていなかった片山廃寺の伽藍域が確定しました。調査では当時の瓦や土器が出土しました。



瓦・土器集中